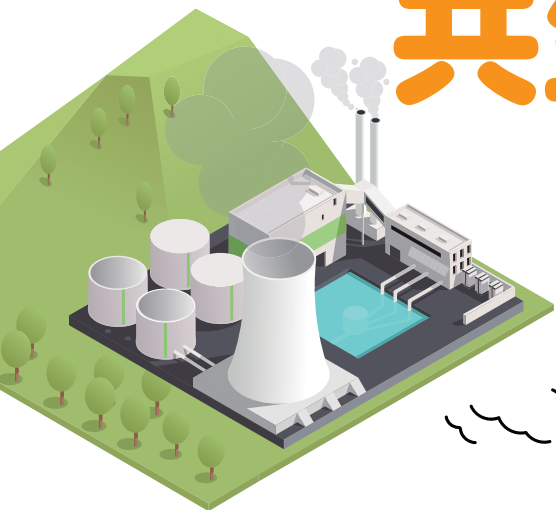




日本学術会議主催学術フォーラム

新しい地熱技術開発と 地熱開発、温泉、環境の 共生に向けて



再生可能エネルギーには地熱、太陽光、風力などがあり、中でも地熱は火山国である日本において高い潜在性を有する。地熱エネルギーは温泉として古くから利用されてきたが、地熱発電は1966年の松川地熱発電所の運転開始以降、1990年代後半まで拡大した。しかし、温泉事業との競合や自然公園との共生といった課題により、その後は停滞している。近年は再生可能エネルギー拡大が重要政策とされ、地熱発電の導入拡大に向けて新技術の開発や環境・温泉との共生の取り組みが進められている。ここでは、新たな地熱技術の開発動向および地熱開発と温泉・環境との共生に関する成功事例を紹介し、日本における地熱エネルギー利用拡大の現状について一般社会の理解を深めることを目的とする。

令和8年

7月8日(水)

13:00~18:00

会場

日本学術会議講堂

東京都港区六本木 7-22-34

ハイブリッド開催 参加費無料

お申込み <https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0375.html>

申込締切 令和8年7月3日(金) 事前参加登録をお願いします。



主催 日本学術会議

後援 独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構、日本地熱学会、一般社団法人日本温泉協会、一般社団法人日本秘湯を守る会、日本地熱協会、NPO 法人地中熱利用促進協会、公益社団法人日本地球惑星科学連合、公益社団法人物理探査学会、地熱研究会、地熱技術開発株式会社、NPO 法人石油ピークを啓蒙し脱浪費社会を目指すもったいない学会

問合せ 日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当 Tel. 03-3403-6295



新しい地熱技術開発と 地熱開発、温泉、環境の共生に向けて

コーディネーター

大久保 泰邦 (日本学術会議連携会員/地熱技術開発株式会社)

総司会

大野 恵美 (日本学術会議連携会員/株式会社 IHI 理事)

スケジュール

13:00 ~ 13:05	趣旨説明 大久保 泰邦 (日本学術会議連携会員/地熱技術開発株式会社)
13:05 ~ 13:35	「今後の地熱開発政策について」 小林 貴成 (経済産業省資源エネルギー庁資源・燃料部地熱資源開発室)
13:35 ~ 14:05	「地域共生型地熱利活用に向けた環境省の取り組みについて」 松岡 法明 (環境省自然環境局 自然環境整備課 温泉地保護利用推進室)
14:05 ~ 14:15	休憩
14:15 ~ 14:45	「温泉事業と地熱開発との共生に向けて」 佐藤 好億 (一般社団法人日本温泉協会副会長/日本秘湯を守る会名誉会長)
14:45 ~ 15:15	「サステナな歓幸地の創造へ」 加藤 貴之 (株式会社元気アップつちゆ代表取締役 CEO)
15:15 ~ 15:45	「秋田県湯沢市のかたつむり山地熱開発プロジェクトの紹介」 後藤 弘樹 (出光興産株式会社資源部)
15:45 ~ 16:15	「岩手県八幡平市の地熱への取組紹介」 佐々木 靖人 (八幡平市市民部まちづくり推進課エネルギー推進係)
16:15 ~ 16:45	「地域コミュニティと共創する熱エネルギー利用システム」 藤岡 恵子 (日本学術会議連携会員 (特任) /株式会社ファンクショナル・フルイッド最高顧問)
16:45 ~ 16:55	休憩
16:55 ~ 17:45	パネルディスカッション「地熱開発、温泉、環境の共生に向けて」 司会 窪田 ひろみ (一般財団法人電力中央研究所サステナブルシステム研究本部) パネラー 後藤 弘樹 (出光興産株式会社資源部) 西川 信康 (独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構 再生可能エネルギー事業本部特別参与) 益子 保 (益子温泉調査事務所代表)
17:45 ~ 17:55	「まとめ」 岩城 智香子 (日本学術会議連携会員/株式会社東芝総合研究所首席技監)
17:55 ~ 18:00	「閉会の挨拶」 高田 保之 (日本学術会議会員/九州大学特命教授)
18:00	閉会